



男声合唱団

東海メールクワイアー

1946年創立
日本男声合唱協会会員

第66回定期演奏会「北欧の男声合唱曲」

エストニアを代表する三大作曲家に新世代作曲家を交えた男声合唱の響演

第1ステージ エストニアの合唱曲 I

Veljo Tormis : Meelespea (追憶)
Ester Magi : Üks hetk (瞬間)
Rasmus Puur : Oma koore all oleme haprad (成長)
Rasmus Puur : Vii mind ühes (Igatsus) (憧れ)

指揮・解説：倉橋亮介

夜の幻想と故郷への想い、ラトビアで歌い継がれる男声合唱作品

第2ステージ ラトビアの合唱曲

Emīls Dārziņš : Mirdzi, kā zvaigzne (星のように輝いて)
Emīls Dārziņš : Mūžam zili (永遠に青く)
Alfrēds Kalniņš : Bīķeris miroņu salā (死者の島の聖杯)
Pēteris Barisons : Nakts (夜)
Bruno Skulte : Aijā mana dzimtene (ああ、私の故郷よ)
Valters Kaminskis : Mūžu mūžos būs dziesma (歌は永遠に)

指揮・解説：山崎志野

男の人生の喜怒哀楽を、高らかにそしてユーモラスに歌い上げる

第3ステージ エストニアの合唱曲 II

Veljo Tormis : Meestelaulud I (男たちの歌)
1. Meeste laul (栄光の歌) 2. Ehalkäimise-laul (別れの歌)
3. Kosjalaul (プロポーズの歌) 4. Viinalaul (酒盛りの歌)
5. Türgi sõja laul (トルコ戦争の歌)

指揮・解説：倉橋亮介

フィンランドの自然・風景を抒情豊かに表現した男声合唱作品

第4ステージ フィンランドの合唱曲

ワンステージメンバー参加ステージ

Leevi Madetoja : Suvi-illan vieno tuuli (夏の夕べのそよ風)
Leevi Madetoja : Hämärän ääniä (ほのかな声)
Toivo Kuula : Iltapilviä (夕べの雲)
Jean Sibelius : Kuutamolla (月光のもと)
Jean Sibelius : Venematka (船旅)

指揮：清水敬一

指揮：清水敬一 倉橋亮介 山崎志野

2025年6月15日(日) 13:30 開場 14:00 開演
刈谷市総合文化センター 大ホール ●全自由席 2,000円

JR東海道本線・名鉄三河線 刈谷駅南口よりウイングデッキ直結徒歩3分

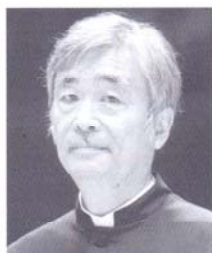
●チケット販売：刈谷市総合文化センター窓口(10時～21時※電話受付はありません) ※未就学児の入場はご遠慮下さい。

●お問合せ・チケットお申込み：電話 090-4117-4153、E-mail: skr-02@clovernet.ne.jp (担当：高見)

※未就学児の入場はご遠慮下さい。 東海メールクワイアー ホームページ <http://choir.wjg.jp/tmc>

■主催：東海メールクワイアー ■後援：愛知県教育委員会／刈谷市教育委員会／愛知県合唱連盟／日本男声合唱協会

出演者プロフィール



指揮 清水 敬一

1959年5月東京生まれ。1982年3月早稲田大学理工学部電気工学科卒業。指揮法を遠藤雅古、V.Feldbrill、合唱指揮を関屋晋の各氏に師事。

管弦楽と合唱のための作品のコーラス・マスターを務める一方、約20の合唱団の指揮者を任せ、初演作品も数多い。国内外の音楽祭・合唱コンクール・作曲コンクールの審査員を歴任。

現在、全日本合唱連盟及びJCDA日本合唱指揮者協会理事。東京芸術大学附属音楽高等学校講師。



指揮 倉橋 亮介

1973年 島根県出雲市出身。島根大学教育学部特別音楽課程を1997年に卒業。

エストニア国立音楽アカデミー合唱指揮科修士課程を2005年に修了。

2004年から2009年までエストニア国立歌劇場合唱団にセカンドテノールとして所属、またエストニアの多くの合唱団の演奏プロジェクトに参加した。

合唱王国エストニアにおける日本人合唱指導者の草分け的存在でエストニアを本拠として、日本とエストニアの合唱のかけはしとなる活動を続けている。



指揮 山崎 志野

1992年生まれ。島根県松山市出身。島根大学教育学部音楽科教育専攻卒業後、ヤーゼプス・ヴィートルス・ラトヴィア音楽院合唱指揮科の学士課程および修士課程合唱指揮科を修了。

2022年にはストックホルム王立音楽大学修士課程合唱指揮科で学ぶ。

合唱指揮を松原千振、Fredrik Malmberg、Andris Veismanis、指揮をViesturs Gailis各氏に師事。多数の講師のもと指揮マスタークラスを修了。

現在、ラトヴィア放送合唱団のアルト歌手、また、ラトヴィア大学混声合唱団Dziesmuvaraの指揮者として活動。

東海メールクワイアー



1946年6月創立の男声合唱団。1958年以降、清水脩作品を中心に邦人作品の委嘱を開始。1964年～1966年には3年連続して全日本合唱コンクールで優勝。1989年以降は常任指揮者制を廃止し、作曲家の高田三郎先生を始めとして、須賀敬一、松原千振、飯沼京子、今井邦男ら諸先生方の指導のもと、多彩な演奏活動を続けている。近年の活動の柱は、「高田音楽」、「北欧合唱作品」、「邦人委嘱作品」、「ドイツ・ロマン派音楽」。「高田作品」については、先生ご自身に指導を受けた男声合唱団の正統派として、重要作品の委嘱編曲と演奏・出版事業、国内外での演奏機会を通じて普及につとめている。特に「高田典礼聖歌」は、2010年、2013年にヴァチカンにおいて演奏し、絶賛をあびた。「北欧音楽」については、1994年に松原先生をお呼びし、定期演奏会のほか1997年、2001年、2006年の3回にわたりエストニア、フィンランド、ラトヴィア、スウェーデン及びノルウェー各国の首都等で公演。また1998、99年にレクチャーコンサートを実施した。2004年から2016年の間に4回アンツ・ソーツ先生をお呼びし、2008年にはトルミス男声作品のみの演奏会を行った。2016年からは、エストニアから倉橋亮介先生、そして今回ラトヴィアから山崎志野先生をお呼びして、新世代の北欧音楽についても取り組んでいる。

● 出演予定者

テノール1	村瀬輝恭	永岡 衛	橋本真一	小島好美	松尾 力	祖父江秀明		
テノール2	中嶋 暁	奥村祐一	永井雄治	嶋田浩文	高木秀一	森 健次	山田典男	金森 譲
バリトン	都築義高	沢田英一	間瀬泰得	徳永達弥	山田 潤	川瀬治通	米倉五郎	
バス	水谷 清	鈴木 順	大塚康徳	清水一郎	行松敏明	塩田 保	曾我雄司	来川眞治
	牧 伸夫	高見是久						

● ワンステージメンバー出演予定者

テノール1	宮島邦明	逸見昌之	白井純二	テノール2	石原靖章	
バリトン	安藤敬久	立石 篤		バス	辻 純一郎	